



自治連だより

第44号

令和元年12月10日

発行：伊丹市自治会連合会

編集：広報委員会



地域の自然環境を学ぶ 「リバーサイドフェスタ」

桜台地区コミュニティ協議会

子どもが楽しめるイベントに

ーリバーサイドフェスタを始めたきっかけはー

大池：始めたきっかけは、天神川と天王寺川の整備後、「あまり子どもたちが川に入って遊ぶ姿を見かけなくなった」「昔はよく見かけたのに、川に入って遊ぶことっていいよね」「また、子どもが川で遊ぶ姿を見たいね」と何気なく話していたのがきっかけで、スタートしました。

ーどのようなことを実施していますか？ー

大池：始めた当初は、昔みたいに川に入って遊んでもらうことをコンセプトに、前日に魚の仕掛けを用意し、魚のつかみ取りを行ったり、水鉄砲を作って遊ぶなど、試行錯誤で始めたのを覚えています。

宮崎：グループに分かれて、魚の取り方や魚の生態について教えてもらったり、取った魚を持ち帰り育てることも実施しました。回数を重ねるにつれボランティアの方も増え、地区のボーイスカウトも野外活動の一環としてイベントに参加し、生態系の勉強も一緒に行うことができました。聞いている大人でも楽しくなるイベントです。



インタビューにご協力いただいた
桜台地区コミュニティ協議会

会長 宮崎 康人 さん（写真左）

副会長 大池 津由美 さん（写真右）



←魚の
つかみ取り



取った
魚を観察→



←手作りジップライン
(滑車とロープを
使った遊び)

主催者が楽しみながら・・・

ーどのようなことで苦勞されていますか？ー

宮崎：苦勞を考えながら企画を実施したことはありません。苦勞を感じながら実施しても長続きはしません。主催者が一番に楽しむことで来場者にも喜んでもらいたい。そういう考えの方が多いと思います。いろんなイベントを他の団体や企業に助けてもらいながら盛り上げて、地域の輪を広げていきたいです。

ー今後について教えてくださいー

宮崎：リバーサイドフェスタは高校生や学校の先生も参加してくれています。桜台地区コミュニティ協議会では子どもたちを中心とした企画が多いです。これからも試行錯誤しながら、いろんなイベントの中で、いろんな方とつながっていけるよう、続けていきたいです。

大池：どの企画でも継続させる努力をしています。一度事業をやめしまうと復活させるのはかなり大変だからです。主催者側の負担を軽減しながら継続させ、主催者が真剣に向き合い楽しむことが大切だと思います。桜台地区では、“自然”と“食”をテーマに、子どもたちに楽しんでもらえるイベントを今後も考えたいです。



空き家で高齢者交流

摂陽小学校地区自治協議会

高齢者の居場所づくりのために

－本取組みを始められたきっかけは？－

狩野：介護予防の推進のため、地域に高齢者が通える場所を作りたいと考えていたところ、ちょうど地域の空き家所有者より、伊丹市社会福祉協議会へ「空き家を地域で活用してもらえれば」とのご相談があり、それをきっかけに空き家を活用させていただくこととなりました。

－どのような条件で空き家を借りているのですか？－

常澤：家賃は無料とし、電気代・上下水道代は実費を自治協議会が負担すること、所有者の都合によりいつでも本契約を終了できるといった覚書を交わしています。「いろいろと地域で支えてもらっているの」という所有者のご厚意により、費用負担を少なくしていただいております。



インタビューにご協力いただいた
摂陽小学校地区自治協議会

会長 常澤 辰晃 さん(写真左)
事務局次長 狩野 勇 さん(写真右)

健康麻雀や俳句で頭はイキイキ

－空き家ではどのような事業をされていますか？－

常澤：各々の得意分野について地域住民に講師をしていただきながら、初心者向けの健康麻雀教室、俳句を愉しむ会を開講しています。麻雀や俳句は、指先や頭をよく使いますので、高齢者の介護予防にとってもよいと思います。その他、地域住民により、高齢者の食事会も開催されています。

－教室などへの参加者の反応はどうか？－

狩野：皆さん、とても楽しんでらっしゃいます。例えば、麻雀教室の参加者からは「熱中しすぎて時間が経つのが早い」「頭をよく使うようになった」「次回の教室が待ち遠しい」などの声をお聞きます。また、高齢者の食事会では、皆が集まることで、とても会話が弾んでいます。参加者の皆さんの楽しそうな様子を拝見すると、やりがいを感じます。



さらに幅広い活用を！

－どのような点に苦労されていますか？－

狩野：他人の家をお借りしているわけですので、鍵の管理には気を遣います。また、女性に比べ男性の参加者が少なく、男性にいかに参加してもらうかについて、頭を悩ませています。

－今後の展望について教えてください－

狩野：囲碁・将棋・川柳同好会の立ち上げ、短歌教室の開講など、様々なアイデアを出しながら、さらなる高齢者の居場所づくりを進めていきたいと考えています。

自治会連合会の取り組み（事業報告）

自治会管外研修会（9月26日～27日）



今年の自治会管外研修会は、9月26日から27日にかけて香川県坂出市と高松市を訪問しました。

坂出市では全庁各課から選出された女性のみで構成する「131（防災）おとめ隊」の活動について説明を受けました。最近では全国各地で大きな災害が起こり、そのたびに避難所での女性への対応が問題となっています。これらを踏まえた女性目線での避難所運営を始め、女性向け非常持ち出し品目の選定などきめ細かな情報提供を行なっているとのことで、非常に参考となりました。

翌日訪れた四国村では、“かずら橋”を皆さんで助け合いながらおそるおそる渡るなど、交流を深めました。

（総務委員長 市川 伊久雄）

自治会研修会（11月9日）



11月9日に実施した自治会研修会は、スワンホールが改修工事のため、伊丹シティホテルでの開催となりました。

講師に㈱マックアース代表取締役CEOの一ノ本達己氏を迎え、「持続可能な中山間地域の創造を目指して～地域社会活性化のヒント～」と題してご講演を頂きました。地域を巻き込み多くのスキー場を再生してきたご経験から、組織のトップとしての心構えや、組織のまとめ方と円滑な運営ノウハウなど、多くのヒントを得ることが出来ました。

研修会後の懇親会では、各自治会間での情報交換や、同席頂いた講師へ直接質問するなど、有意義な時間となりました。

（総務委員長 市川 伊久雄）

広報委員会研修会（11月12日）「SNSとホームページ入門講座」

～インターネットを活用した自治会の広報活動～



今年も引き続き、株式会社コトバノミカタ代表・グラフィックデザイナーの本下瑞穂（ほんげみずほ）氏を講師にお迎えし、「SNSとホームページ入門講座～インターネットを活用した自治会の広報活動～」をテーマとして、研修会を開催しました。

研修会では、インターネットを活用した広報活動について、基礎的な内容を学びました。具体的には、SNSと無料ホームページ作成サービスの利用方法、伊丹市内の自治会における活用事例、広報計画の立て方等について、グループ対話も交えながら、わかりやすく教えていただきました。

今回の研修会の内容を各地域の広報活動に活かしていただければ幸いです。

（広報委員長 長澤 孝）

生活安全委員会街頭啓発キャンペーン（10月14日）



10月14日に伊丹スポーツセンターで「防災意識アンケート」を行いました。多くの方にご協力をいただきありがとうございました。

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。各家庭が非常時の備えを進めるとともに、向こう三軒両隣をはじめとした地域のつながりを深めることが、安全・安心につながると考えます。地域全体での防災・減災の取り組みを進めてまいります。

（生活安全委員会 副委員長 黒田 勇）

自然災害への備えにぜひご加入を！
兵庫県住宅再建共済制度（＝フェニックス共済）

住宅再建共済制度		家財再建共済制度		定額給付で安心！
区分	負担金	被害認定	給付金	
住宅再建共済	年額5,000円	半壊以上	最高600万円	
	年額500円追加	一部損壊 ※2	最高25万円	
家財再建共済 ※1	年額1,500円	床上浸水以上	最高50万円	

※1 住宅再建共済と家財共済の両方にご加入の場合、最大500万円負担金が引き上げになります。
※2 損害割合 10%以上

お問い合わせ先 フェニックス共済 検索
（公財）兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400（平日9時～17時）
阪神北東民局フェニックス共済担当 ☎079(83)3122（平日9時～17時）

自治連各ブロック長よりメッセージ



市川 伊久雄
(鈴原ブロック・西御願塚自治会長)

鈴原ブロックでは、来年度の地域自治組織立ち上げに向け、今年度はその準備期間と位置付けて活動しています。上期は地域自治組織の共通理解を得るため、すでに役員向けの勉強会を開催しました。下期にはプロジェクトチームを立ち上げ、規約の策定や住民アンケート項目の検討、まちあるきの準備などに取り組んでいきます。もちろん、従来の事業についても全力投球で実施していきます。



宮内 正次
(鈴原ブロック・笹北自治会長)

笹原小学校区では平成28年度に10年後のあるべき姿を描いた地域ビジョンを制定して各委員会で課題の解決に向け意見交換を行い、事業内容の見直しと充実を図り地域の活性化を進めると共に、従来の広報とビジョンだよりの発行に加え今年度はホームページを立ち上げ情報発信の強化を進めてきました。

昨年に続き笹フェスを開催し地域住民と園・小中学校間の交流を深めることが出来ました。今後も地域住民と共に住みよいまちづくりを進めていきます。



池永 博文
(神津ブロック・森本自治会長)

神津ブロックは10自治会で構成され、私は今年の4月より代表理事になりました。

今年度の神津地区は、5月26日に新組織神津小学校地区自治協議会が発足し、現在「地域ビジョン」策定に向け、①アンケート調査の実施と集約、②アンケート報告会の実施、③第1回意見交換会を実施しました。

今後は、まちあるき、第2回・第3回意見交換会を実施し、「住んでよかった、ずっと住み続けたい」神津地区にするため「地域ビジョン」を来年3月までに決定したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



秋山 勝敏
(緑丘ブロック・春日丘自治会長)

2019年は、地域住民の皆様と共に「地域ビジョン」の策定に邁進した一年でした。多くの皆様から意見を頂戴して、地域にある魅力や課題等が総合的に把握することができました。2020年は地域ビジョンに基づき、住民皆様と共有し、今後起こり得る人口減少に端を発する諸問題に備えられる「自治組織」を目指して参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



山本 寿一
(瑞穂ブロック・東緑ヶ丘自治会長)

瑞穂地区は、6自治会で構成されています。瑞穂地区社会福祉協議会を中心に会議並びに活動に取り組み、地域の活性化に努めております。

地域活動で特筆すべき催しは、「ふれあいまつり」です。小学校PTAを中心に企画運営が実施されています。当日の賑わいは夜店16～17店の出店で来場者は2,000人以上で盛り上がりま

す。その他の催しには、毎年多数の参加者で賑わっており関係者としてとても嬉しく思います。



瀧内 文也
(桜台ブロック・西野自治会長)

桜台地区コミュニティ協議会は、1年を通じて行う農業体験で収穫した玉ねぎやジャガイモを振舞う「収穫祭」に始まり「夏祭り」や「もちつき大会」等、どの地域でも行っている行事の他、自然環境を学ぶ「リバーサイドフェスタ」や「観望会」その他にも「子どもの居場所さくらっこ」・「さくらっこ食堂」等、「住んでよかった桜台」を目指し、子ども達の笑顔が見える地域づくりに、PTAや各自治会並び多くの諸団体の協力を得て盛り上げています。

兵庫県連合自治会大会受賞者紹介

第50回兵庫県連合自治会大会(11月14日開催、会場：朝来市)にて、兵庫県自治賞2名、県連会長表彰13名が表彰されました。受賞者の皆様おめでとうございます。※敬称略、()はブロック名

【兵庫県自治賞】(自治会長歴通算10年以上)
山本 寿一 東緑ヶ丘自治会長(瑞穂)
伴 弘 鴻池団地自治会長(桜台)

【県連会長表彰】(自治会長歴通算5年以上)
高藤 義弘 行基町北自治会長(伊丹)
春日 芳夫 外城自治会長(有岡)

【県連会長表彰(左下からの続き)】

岩井 勉 アルビス伊丹千僧自治会長(稲野)
山口 啓子 堀池自治会長(摂陽)
栗原 久榮 ろうきん昆陽3rd自治会長(摂陽)
晦日 洋一 あぜりあサハイツ自治会長(笹原)
田中 良市 上須古自治会長(神津)
高島 明 厚生年金住宅自治会長(池尻)
大川 伸氏 西野第3鉄筋自治会長(池尻)
茂久田 彰 リラティ自治会長(池尻)
菅原 宏 パストル昆陽自治会長(花里)
神田 美枝子 寺本東自治会長(昆陽里)
藤原 美彰 春日丘自治会前自治会長(緑丘)



三役と受賞者の皆様